

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援センター 通園ありんこ		
○保護者評価実施期間	令和8年 1月 27日		～ 令和8年 2月 14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数) 8
○従業者評価実施期間	令和8年 2月 7日		～ 令和8年 2月 17日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数) 2
○訪問先施設評価実施期間	令和8年 1月 27日		～ 令和8年 2月 14日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数) 10
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 7月 21日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	訪問先での子どもの様子の共有・説明。	訪問先の先生方には、様子の共有や支援の方法について専門的な立場からできるだけわかりやすく説明ができるよう心掛けています。	引き続き、成功体験が積める支援を考えながら、サービスを提供していき、各園や学校での生活がより充実するよう努めてまいります。
2	訪問後の面談。	訪問後、保護者との面談をもち、園での様子、成長を感じられたこと、今後の課題になりそうなこと等、丁寧に伝えるよう心掛けています。 又、困り事や質問についても一緒に考え、支援の方法等お伝えするようになっています。	引き続き、子ども達の様子をご家族の方と共有し、要望や相談等にも丁寧に対応するよう心掛けたいと思います。
3	卒園児・転園児の訪問支援。	通園ありんこに在籍していた期間の姿を詳しく伝えながら、訪問先の先生と一緒に支援の方法を考えたり、伝えたりしています。 転園先での成長を感じ、保護者の方と喜びを共有することができるようサポートしています。	今後転園を考えられている在園児の保護者の方々にも安心して希望の進路に進めることができるよう、取り組んでまいります。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要だとと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保育所等訪問支援について、各学校・各園の認知と理解を深める。	学校や園の管理者の方に事業についての趣旨や訪問支援の目的について、説明したつもりでしたが、クラス担任の先生に十分伝わっていないと感じることもありました。	訪問支援の目的を保護者の方の意向を含め、丁寧に説明をさせていただきたいと思います。
2	希望があった場合、迅速な対応が困難。	限られた人員のため、希望があった場合すぐに対応することが難しいこともありました。 又、訪問先の行事や都合等の関係で日程の調整が上手くいかないこともありました。	できるだけご家族の希望に添いながら支援ができるよう調整したいと思います。
3	ホームページ・SNSなどを使った情報の発信。	今年度より保育所等訪問支援についての事業所評価を公表することになりましたので、法人ホームページにて発信いたします。	